



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2



岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

明るい裾野

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouti

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

困ったことがあったら小沢、岡本のなんでも相談へ

**裾野市議会請願否決!!
浜岡原発の廃炉を求める
意見書提出は**不採択**。
自然エネルギーへの画期的な
転換を求める意見書
提出だけは採択**

「浜岡原発の廃炉と自然エネルギーへの画期的な転換を求める請願」が、森本善雄さん(佐野)・名波秀夫さん(久根)・水口英夫さん(伊豆島田)の3名によって土屋篤男市議会議長に2月7日提出されました。請願紹介議員として岡本和枝・小澤良一両議員が署名しました。請願項目は、

- ① 巨大地震震源域の真上にあり世界一危険な浜岡原発の廃炉と
- ② 原発に替わるエネルギー源として自然エネルギーの画期的な導入、充実拡大

の2点を求める意見書を、静岡県知事ならびに内閣総理大臣に提出するように裾野市議会に求めたものでした。

裾野市議会は、総務委員会(小林俊委員長と6名の委員で構成)に請願書の審査を任せました。

総務委員会では継続審議だが

2月29日の総務委員会で請願審査を行い、請願項目の取扱を委員長が各委員に求めた結果、「内容についてより知る必要がある」等の理由で総務委員3名が継続審査を、2名が②自然エネルギーの項目採択で一部採択を、1名が不採択を表明となり、総務委員会としては議会最終日の本会議に請願審査報告として、「議会閉会中の継続審査」を最終日に提案することにしました。

議長が …………… …… …

ところが、議長に総務委員長が総務委員会の審査報告を「閉会中の継続審査」にする事を報告したところ、議長から3月議会で請願の結論を総務委員会として出せないか、という「お願い」がありました。3月28日議会最終日に小林総務委員長より総務委員会での請願書の審査報告がされ、委員会としての「閉会中の継続審査」を全議員

に求めたところ、この提案に対して質疑があり、継続審査反対の意見が出されました。

議長より討論採決の提案があり、滝本議員が「閉会中の継続審査」反対の意見を表明。小澤議員が委員会で結論付けた「継続審査」に同意する様に求めました。

採決が行われ継続審査に賛成した議員は4名(二ノ宮・岡本・小澤・芹沢各議員)で他の16名議員は、「継続審査」に同意せず否決されました。(議長は賛否同数以外、採決には参加しません)

再度の総務委員会で「継続審議」は否決に

今3月議会中に請願の結論を出すように求められた総務委員会は本会議休憩中に、総務委員会を開催して、請願の要求項目を再度審査致しました。

採決の結果4名が「一部採択」、1名が不採択で、原案に賛成が1名(小沢良一議員)で、委員会は「1部採択」を本会議に報告することにしてしまいました。

本会議で請願は骨抜き採決「これで子どもが守れるのか？」の市民の声

再会された本会議で総務委員会の審査報告がされ、採決の結果。「①浜岡原発の廃炉を求める意見書提出は不採択」となり、「②原発に替わる自然エネルギーへの画期的な転換」のみの一部採択の意見書提出が議員18名賛成(共産党議員2名小澤・岡本は反対)で採択されてしまいました。

議会の顔はどこを向いている？



請願を提出された方や請願提出の賛同署名をされた市民の方々が傍聴されていましたが、「継続審査にして、浜岡原発の危険性を認識して廃炉」の意見書を裾野市議会が挙げてくれることを願っていたのに十分な論議もされないで不採択となったことに失望し、市民の思いに寄り添って慎重審議をしてくれる議員の少なさを口にしていました。請願成立を願う署名は約4,500名が提出されています。

地方議会は政府の動向や政治判断に影響を受けることはあっても、そういう中で「如何に市民による市民のための政治、市民が安全で安心して暮らせる地域をどのようにつくるかが求められているのです。

今回の請願項目の浜岡原発廃炉の意見書提出不採択は、民主党野田首相や細野環境大臣(衆議院静岡5区選出)の「原発再稼働」を、早期に実現したい政権の思惑と原発稼働を模索している電力業界と連合傘下の電力関係労働組合等の動きなどがあるとすれば地方議会のあり方が危惧されるどころです。

**日本共産党裾野市議団は
引き続きがんばります**

がれき受け入れの大前提 安全・安心のために裾野市 が率先して手を打てること

岡本裕市

前号で、「汚染プルーム(放射性雲)が3月14日の午後になって風が陸向きになり、拡散は福島から中部地方に拡がりました。多分、このときに静岡にも汚染プルームが来たのでは」と書きましたが、3月22日～25日かけて静岡県中西部まで及ぶプルームがかぶさっていたようです。



震災がれき処理説明会で

3月28日、文化センター多目的ホールで震災がれき処理説明会があり、市の説明を聞き、欠けていたことを一点だけ指摘しました。それは、大畑の焼却場からの煙はどこへ降りるかということです。「昼は、沼津から御殿場側へ煙は流れます。煙突の高さ30m、風速0.5mの場合、1km先に煙は降りるので、富岡・葛山地区の調査が必要」と指摘しました。市は、早速対応したそうです。時間の都合で会場ではその他の指摘はできませんでしたので、後日、追加の指摘をしました。それは、コンテナの「^{ふうかん}封^{ふうかん}緘」です。山田町でコンテナに入れ^{ふうかん}て封^{ふうかん}緘し、裾野についたら封^{ふうかん}緘を切る。



^{ふうかん}封^{ふうかん}緘が切られていたら受け取らない。コンテナの中身の素性の担保、途中での混入を防ぐ措置です。市の担当者は、「県にもそう言います」とのことでした。

安全・安心のために

根本的な二つの提案

さて、がれき処理対応の本当の問題はこれからです。焼却場と最終処分場、この2点について提案します。これががれき処理は、国からの依頼であり、依頼するからには国は裾野市民の不安を解消する必要な技術的対応をとるべきです。裾野市は、受け入れに関わる県と県内各市と共同して国に要求することを提案します。



1) 焼却場にゼオライトによるセシウム吸着装置をつけること。

ゼオライトはイオン交換材料となる鉱物で、セシウムを非常によく吸着します。横浜市は4月から、市内の4焼却工場での飛灰処理に、放射性物質を吸着するゼオライトを使用するという報道がされています。

2) 最終処分場を^{しやだん}遮断型最終処分場にすること。

10数年前、ダイオキシンが問題になった頃から日本の最終処分場は地下水汚染の問題がついて回っています。県内で合格点を与えることができたのは春野町の最終処分場だけでした。この春野町の最終処分場は、「^{しやだん}屋根付きで雨が入らない。プールのようにコンクリートを打った上に丈夫な遮水シ

しやだん
一トを引いた遮断型最終処分場」でした。

万が一でも地下水汚染を引き起こせば「長期の内部被ばく=低線量被ばく」となり、人的被害、特に子どもへの人的被害は避けられないものになります。



日本一最悪のダイオキシン濃度だった蒲原の焼却場、2番目の伊豆長岡の焼却場と、焼却場も大問題になっていましたが、全国的にはダイオキシン被害は97%が水・食物によるものでした。飲料水の汚染は絶対に避けなければなりません。遮断型最終処分場は安全・安心の担保です。

前号で書いたように、「震災直後に焼却場と処理場を政府がそれぞれの現地に造らなければならなかった」のをやらなかった尻ぬぐいのがれき処理です。がれき処理依頼に当たって、国が国民の安全を守るためにとるべき当然の措置です。



この2点を、県と県内受け入れ考慮中の自治体は共同して国に要求し、受け入れの前提とすべきです。

知っ得

あなた!!

どうして申告しないの？

庶民の味方



65歳以上の人で、年金収入が年間120万円、給料を62万円貰っている人は、な

ぜ、申告しなくていいのでしょうか？

公的年金収入は雑所得となり、給料は給与所得となります。たとえば、65歳で120万円の年金を貰うと、330万円



以下までは120万円の年金の控除があり、差し引くと0円の所得です。その他に給料62万円貰っても162万円までは65万円の給与所得控除がありますので、こちらも差し引くと0円になります(マイナスは0円です)。従って年金と給料の合算の申告をしても所得は0円です。所得が0円の人には確定申告をする必要が無いという事です。0円の人が無申告でも、なにか問題が無い限り、税務署からはお尋ねのはがきは来ません。

来年からは寒い会場で長時間待つて申告しなくても、公的年金の支払者



(日本年金機構など)から公的年金等支払い報告書、給料を支払っている会社等からは給与等支払い報告書が、しっかり市役所に提出されていますので、住民税や国民健康保険料は自動的に算出され、みなさんのところへ忘れられることなく、納付書がポストへ届くようになっています。

※ただし、年金や給料から税金を引かれている人は、還付になりますので、必ず申告をしてください!!

